



看護局いきいき通信



編集委員：梶井 植田 石田 島岡 山田

令和3年5月発行(年3回発行：春号)

発行責任者：田中

新緑のかおりの季節となりました。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。引き続き看護局の動向や、院内・外でのイベント情報などを伝えていきますので、取り上げてほしい話題などがあれば各部署の図書委員まで気軽に声をかけて下さい!!
どうぞよろしくお願いいたします♡



新人紹介



新しく師長になられた方々に意気込みを伺いました!!

今年度は28名の新人さんを迎えました!

1年目は覚えることも多く様々な勤務形態を経験し、看護学生時代とは違った大変さがあると思います。しかし徐々にできる看護の幅も広がり、少しずつ看護の楽しみ・充実感を見いだせるのではないかと思います。
焦らずゆっくり頑張ってくださいね♪



外来受診された方が大和高田市立病院へ来て良かった、今後とも来ようと思っていただけるように「生活」の視点をもって患者さんに寄り添ったケア・指導が提供できる外来でありたいと思っています。今後も在院期間の短縮や高齢患者の増加などより一層ハイリスクな治療処置が外来で行われることが予測されます。どのような患者さんにも対応できるようスタッフ共々研鑽に努めたいと思います。

外来診療科



スタッフ各々が互いを尊重し、助け合いが出来る働きやすい職場にし、「心配り」「目配り」「心配り」が患者家族・スタッフにできる師長になりたいです。みんなの力を借りながら、質の高い看護が出来るように頑張っていきたいと思っています。

2B 病棟



3A 病棟は幅広い年齢層の患者を対象とする中、小児メディカルショートステイの受け入れを行っています。不安と緊張の中、患者の命と笑顔を守るために日々奮闘しているスタッフがやりがいをもって働くサポートができるよう師長として努力していきたいと思っています。

3A 病棟



トリアージ外来について

病院南側に設置されたトリアージ外来を取材しました! 医師による診察、PCR検査、レントゲン撮影も行っています。外来西側には、検体採取も可能なブースが設置されていました。看護師3名と医師で対応しています。



外来看護師が万全な感染対策のもと、業務にあたっています!

看護研究 (卒後4年目 2020)

1グループ

テーマ：アルコール飲料による手指消毒の有効性について
コロナの流行によりアルコール消毒が欠品となり厚生労働省がアルコール飲料の代用を認めたため、アルコール飲料使用による手荒れはどうかと疑問に思い、消毒効果と手荒れについて実験、アンケート調査をした。

2グループ

テーマ：転倒転落アセスメントシートを用いたカンファレンスの有効性
～ケアカンファレンス前後の看護師の意識変化～
転倒転落を防ぐために院内で採用されている転倒転落アセスメントシートを有効活用する意識付けを行う勉強会を実施しました。

3グループ

テーマ：意思決定支援の質向上に向けた取り組み
～アドバンス・ケア・プランニングに関する認知調査～
地域包括ケア病棟でACPについての勉強会を行い、勉強会前後の看護師の意識変化について調査しました。

4グループ

テーマ：看護師による慢性心不全患者の運動療法 ～離床プログラムを用いて～
心不全患者に対する運動療法に着目しました。看護師が介入しやすいようにポケットガイドを用いて指導を実施することで認識に変化が起こるかを調査しました。

各グループは、秋に行われる院外発表に向けて頑張っています!!

～看護部会ご挨拶～

1年間、看護部会活動へのご協力をありがとうございました。今年度もコロナ禍により、恒例のお食事会や歓迎会等の催しが残念ながら見送りとなりました。コロナが収束し、またみんなで楽しい催しが開催できる事を心より願い、また、現状においても何か別の形で皆さまに還元できればと考えております。次年度も引き続き、看護部会へのご協力をよろしくお願いいたします。

看護部会 一同

特定看護師として活躍されているK 主査にインタビューしました◎



人工呼吸器の調整を行っています!

2020年4月、奈良県立医科大学において1年間の看護師特定行為研修を修了し、特定看護師となりました。
看護師特定行為研修において、看護の視点だけでなく治療を行う医師の専門的な視点を知ったことで両者をつなぐ役割を果たしチーム医療の強化に貢献できるのではないかと考えています。アセスメント力や技術力などを活かし、チーム医療においてケアとキュアの両面から患者像をとらえ、共通認識を持ちながらも多角的視点を取り入れ多職種と協働できるキーパーソンとなり、OJTを用いて現場のボトムアップを意識していきたいです。チーム医療の一員として、特定行為ができる看護師が医師と患者の間に入ることは、患者や家族ケアの向上にもつながります。行為ばかりにとらわれず、患者の現在の状況などをメンバー・他職種と共有、共に考えていくことでチームでの結束、チーム力の向上を担えるようになり、特定行為を活かせる看護師として活動していきたいです。